

## 日常を支えるケア労働職場とジェンダー平等社会を

### 一品多い父の食卓

大正と昭和2年生まれの子供の下で育った私。夕飯の食卓には必ず父のおかずが1品多くありました。

父が経営していた工場が保証人の不渡り倒産し、母は自宅で市の委託を受けて「託児所」を運営することに。当時は子育て経験があれば無資格でもよく、公立保育所に入所するまでの間、産休明けの子どもを多い時で3人みていました。

### 保育資格を獲得

「浮気は男の甲斐性」というつまらない言動とそのことで大迷惑を被った非嫡出子の私は、養護施設で働きたいと思うようになりました。高校卒業後、保母（今は保育士）資格を獲得できる専門学校に進み、学資を稼ぐためバイトの掛け持ち、トリプルワーカーとして通学しました。

### 環境改善へ運動

念願かなって川西市立保育所の保育士に。市立、私立、無認可を問わず、「保育・教育内容の発展や職場環境の改善」と「無認可保育所の改善、認可化」に力を注ぐことになりました。私立保育園であっても公立園所並みの保育基準や労働環境の改善を、待機児童ゼロを、との闘いは今も続いています。

### 新自由主義で水準後退

この十数年間、新自由主義を掲げる自公政権の下で、これまで勝ち取ってきた保育水準が後退させられています。こども本位の様々な基準が効率優先で規制緩和され、公立園所の統廃合や民営化、経営優先の株式会社の参入、保育士資格がない職員配置が許される小規模園、自治体が関与しない企業主導型などなど。それでも待機児童はゼロにならず、保育士確保も難しい現実があります。

50年前の「母の託児所」を思い起こし逆戻りの危機感を感じています。

### ケア労働者の地位向上を

「私たちの日常生活における必要不可欠な仕事を担う労働者」。ケア労働やエッセンシャルワーカーと言われ、地位向上が求められています。

専門的な勉強を重ね資格を持っている保育や介護、障がい者・児など福祉施設で働く労働者の賃金が全労働者より月10万円も安いなんて異常です。「子育てや介護は女がやるもの」という価値観・通念の表れではないでしょうか。

不安定雇用がまかり通っているのも問題です。川西の公立保育所で働く約26%が不安定な会計年度任用職員で占められています。(4月1日時点)

### 看護師、保育所・支えあう関係

ケア労働、エッセンシャルワーカーを女性の無償、低賃金に依存してきた結果、コロナ禍の下で看護師不足などの問題がクローズアップされています。保育所や介護施設が少ないと看護師さんは働くことができず、看護師が働けないと医療現場は逼迫します。子育て、教育、障がいや介護、養護など福祉など私達の日常はいろいろな方々と双方向で支え合い成り立っているのです。

### ジェンダー平等前提

人間の尊厳が大切にされ、豊かな成長・発達を保障する福祉・教育などの現場で、専門家として評価されるためにも「ジェンダー平等」の視点が絶対に必要です。「ケア労働」が正に評価され、やりがいを持って働き続けられるような連帯社会のために、がんばってまいります。

同日

行われた、淡路市議会議員選挙では、日本共産党の現職と新人が当選し1議席増。上郡町では新人が当選、空白地を克服するという嬉しい結果も入ってきました。これからも、よろしく願います。



兵庫県知事選を闘って  
～黒田みち～  
憲法が輝く兵庫県政をつくる会

金田候補が訴えた「病院のベッド削減許すな!」「保健所復活」「いのち・くらし・仕事守る兵庫へ」は今後とも追及



7月18日投開票の兵庫県知事選挙で、憲法が輝く兵庫県政を作る会推薦の金田峰生候補は、前回知事選を約4万票上回る18万4811(10.1%)票を獲得し健闘しましたが、残念ながら及びませんでした。

自民党が分裂したものの、菅政権・官邸丸抱えの候補者か井戸県政を継ぐ候補者かの2者択一報道の中で、金田候補が訴えた「病院のベッド削減許すな!」「保健所復活」「いのち・くらし・仕事守る兵庫へ」という具体的な政策や財源論は、私たちの切実な思いや願いとピッタリでしたが、浸透できませんでした。

### 良識に1票「うれしい」

投票日翌朝、「選挙戦お疲れさまでした。残念な結果ですが18万分の1になれたことを嬉しく思います。秋の選挙がんばってください。今の与党にはこれ以上国政を託すことはできません。」のメール。勇気と元気をいただきました。

選挙戦真っ只中にも「ポスターに金田さん。嬉しいな♪期日前投票済ませてきました!兵庫県の良識です。」「金田さんの県知事選の放送を聞きました。庶民の目線と真実味溢れる人柄で胸が熱くなりましたよ!」「金田さんは残念でしたが、僕の知り合いは皆応援してましたし存在感あります。」など、嬉しいメールが届いていました。

川西市では、投票率が40.67%、金田峰生さんの得票数は5852票(投票者数比11%)。金田峰生さんが候補者として訴えてくださった内容は、これからも私たちが実現のために頑張る中身です。

### コロナ禍から教訓を

特に、コロナ禍の中、市内ではワクチン接種が順調に進んでいるとはいえ、なお新規陽性者が増え続けています。感染症対策には、やはり無症状の陽性者を見つける検査と保護・隔離政策が絶対に必要です。病院の統廃合やベッド削減ではなく、いのちをまもる医療の構築へ、保健所の復活へ、一緒に頑張りましょう。

個人やお店、事業者等で働く方も経営者も安心して検査を受け療養や医療を受けることができる経済的支援も急務です。

### 引き続きお力添えを

「命・くらし最優先」の世論が広がっている中、諦めず、声をあげ行動し続けること。住民の実態から学び、粘り強く要求を実現させる活動はこれからも続きます。皆さんの知恵と力を貸してください。私も全力で取り組みます。